NIE実践報告

1．タイトル：私たちの暮らしと「雪」

2．学校名

札幌市立平岡公園小学校

3．実践者名（代表者名）

山田　健・榎本　めぐみ・坂本　友美・和田　敬介

4．学年

5年生

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習　5学年全員（126名）

6．単元（本時の学習課題）名

「雪」っていいの？悪いの？

7．目標(狙い)

家族へ取材したことや雪にかかわる新聞記事の切り抜きを通して、雪に対する見方や考え方を広げる

8．評価の視点

子供にとっての比較的よい「雪」のイメージを家族や新聞記事から、自分以外の立場での「雪」のとらえかたを知り、様々な立場に立って雪に対する考えを持つことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

私たちの暮らしと「雪」〔総合的な学習の時間：１５時間〕

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①「雪」についてどんなイメージをもっているのかを知る。
②「雪」に対するイメージを家族へ取材やしたり、「雪」にかかわる新聞記事を集める。
③家族への取材や集めた新聞記事もとに、「雪」に対する見方や考え方を広げる。
④自分たちの暮らしの中で切実な問題となっている「雪」の「除排雪」について調べる。
⑤調べたことをもとに、「除排雪」についてまとめる。
⑥今後「雪」とどうかかわっていくのかを考える。
⑦自分の考えをまとめる。
⑧「雪」を楽しむイベントに参加する。

留意点
・新聞記事の切り抜きを集めて交流することから、子供自身の「雪」の見方だけでなく、社会的な「雪」に対する問題に気づかせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞記事の切り抜きから子供自身の見方や考え方を広げることができた。良い面も不便な点も様々な立場で考えることができた。多面的にとらえることができて、その後の活動を進めていく意欲を持たせるのに効果的であった。

12．成果と課題

自分の地域についての「雪」について、様々な立場で多面的にとらえることはできた。そして、家庭学習での取り組みを見ていると、以前よりは、新聞記事に興味をもって、記事に目を通す子も多くなった。今後、この活動から日常的に記事に目を通していったり、自分自身の考えと比べながら記事を読めるようになってもらいたい。